



## 種なしの果物はどのようにつくられるの

### 種なしスイカの苗は、3年がかりで育てる

種があるふつうのスイカは2倍体といって、染色体が2組あります。種なしスイカは、染色体が3組ある3倍体という、特別の変わりものです。3倍体は種を作る能力がありません。種がないので、毎年、3倍体のスイカの苗を作らなくてはなりません。これには3年かかります。

1年目は、2倍体のふつうのスイカの種をまいて、双葉が開いたときに、コルヒチンという薬品をかけて、大きくすると4倍体のスイカができ、4倍体の種ができます。

2年目は、4倍体の種をまいて育て、咲いた、め花に、ふつうの2倍体の花粉をつけると、実ったスイカの中には3倍体の種ができます。

そして、3年目に、3倍体のスイカの種をまいて、種なしスイカを作ります。

### 種なしブドウは、ジベレリン液にひたすだけでできる

種なしブドウの場合は簡単で、特別な苗はいりません。ブドウの花が開く2週間前に、花の房をジベレリンの薄い液にひたします。そして、ブドウの花が開いたあと、もう一度ジベレリン液に房をひたすだけで、種なしブドウができます。簡単ですから、家庭でも種なしブドウを育てることができます。

ジベレリンは、イネの成長ホルモンの1つです。山梨県の農業試験場で、イネの実験中に、ジベレリンがブドウを種なしにすることが、偶然に発見されたそうです。

(監修・中山 周平)

